

サンエイロテックが施工

長生郡長生村（石井俊雄村長）は今年度、同村地域防災計画に位置付けられている避難場所9カ所に避難場所標識、その誘導場所へのスムーズな誘導を図るため避難誘導



夜間でもピクトグラム点灯

村内全域に 発光サイン

して、村民に大きな安心を提供している。

工事は避難場所・避難誘導標識設置工事として発注されたもので、(株)サンエイロテック（白鳥和重代表取締役、茂原市市府岡1-520-1）が昨年9月4日、12月24日の工期で完成させた。

避難場所標識が設置されたのは、長生村文化会館（岩沼2-1-9）、長生中学校（岩沼1-63-1）、

一松小学校（一松1-57-3）、八積小学校（金田2-660）、高根小学校（本郷1-297）、八積保育所（金田2-727）、高根保育所（本郷6937）、一松保育所（一松1-530-1）、ニヶ台総合公園（本郷5366-1）の9カ所。この避難場所へ村民等を素早く誘導するための誘導標識は、国道県道及び村道に21基設置されている。

計30基全ての標識は、夜間の避難活動をサポートするため、太陽光発電発光装置が付けられ、停電時でもピクトグラムが発光するシステムとなっている。このソーラーピクトシステムは、県内でも成田市、勝浦市、八千代市などで一部設置されているが、今回の長生村のように自治体全域で設置されたケースは初めてのこと。太陽光により発電して蓄電することからランニングコストが低く、メンテナンスも容易なことから、今後の普及が期待される。

なお、標識の設置は、「安心と安全を確保し潤いのある生活しやすいまちづくり」を目標としたまちづくり交付金を活用して実施。同村では、夜間のセキュリティ確保、犯罪防止、災害時の停電時にもス



① 避難誘導標識
② 夜間には絵文字が点灯

避難場所9、誘導標識21カ所

長生村

ムーズに避難行動をサポートできる等により、太陽光発電発光装置付き標識を採用した。白色発光 また、標識板はアルミ製を採用し、塩害等の影響を防止し耐久性を確保している。

発災時にスムーズな避難



長生村長 石井 俊雄

長生村は、千葉県の太平洋に面した九十九里平野の南部に位置し、面積28・32㎢、人口1万4967人（日21年1月1日現在）の、稲作を中心とした農業と、工業が盛んな村であります。また、直線距離にして千葉市まで約30km、東京までは約60kmという場所であるため、都市部への通勤や通学も可能なことから、転入者も増えてきております。村では、第4次総合計画のもと、「人間性豊かな健康で住みよい村・長生」を目指し、住民が安心して快適な暮らしができるよう、災害に強いまちづくりに向けて整備を進めており、今年度はまちづくり交付金事業によります。

なお、これら全ての標識には太陽光発電発光装置を付けて、夜間にピクトグラム（絵文字）が点灯するという仕様にしたので、万が一、夜間に大災害が起きて停電になっても住民をスムーズに避難・誘導させることができると考えております。また、日頃からこれらの標識を目にするので、避難場所の周知と一人ひとりの防災意識の高揚につながることを期待しております。こうした先進的な事業も含めた各種防災事業を推進し、住民が安心して生活ができ生涯住み続けたいと思えるまちづくりを、今後も邁進していく所存であります。